



Tomeka Reid Quartet

Tomeka Reid - cello

トミーカ・リード - チェロ

Mary Halvorson - guitar

メアリー・ハルヴォーソン - ギター

Jason Roebke - bass

ジェイソン・レブキ - ベース

Tomas Fujiwara - drums

トマ・フジワラ - ドラムス

Japan Tour 2025

Nagoya - Tokyo - Kobe - Okayama - Yame



Tomeka Reid Quartet



トミーカ・リード・カルテット

チェロを自在に操り、近年のジャズ界に新風を吹き込んでいるのがトミーカ・リードだ。ワシントンDCでクラシックを学んだのち、シカゴの前衛ジャズ集団AACMの一員として21世紀初頭に頭角を現した彼女は、ニューヨークとシカゴを行き来しながら弦楽器の新たな可能性を切り拓いてきた。現在は欧米主要ジャズ・フェスティヴァルの常連として世界的に活躍。高い演奏力と創造性に満ちた作曲能力は常に高い評価を受け、2022年には“天才賞”として知られるマッカーサー賞を受賞している。

2010年代半ばに結成された〈トミーカ・リード・カルテット〉は、チェロ+エレクトリック・ギター+コントラバス+ドラムスというユニークな編成で、クラシカルな弦楽トリオと前衛ジャズの要素を見事に融合させた、唯一無二のサウンドを生み出している。

昨年の初来日ツアーでは、その鮮烈なパフォーマンスと音楽的深みで多くの観客を魅了。メンバー自身も日本の文化とオーディエンスに強いインスピレーションを受け、再来日が熱望されていた。そして待望の今回、彼らはこのツアーのために書き下ろした新曲を携えて再び日本のステージに立つ。

トミーカ・リード・カルテットは今、日々・年々進化を続け、世界のどのバンドとも比肩し得ない存在へと育ちつつあり、今回のツアーはその現在地を日本で目撃できるまたとない機会だ。

トミーカと並ぶメイン・ソロイスト、メアリー・ハルヴォーソンは、米ジャズ界で最も注目されるギタリストの一人。正統派のスタイルを拡張奏法やエフェクトで変容させるソロはスリリングそのもの。ベースストのジェイソン・レブキは、シカゴの前衛シーンを長年支えてきた《禅ベーシスト》。即興演奏と作曲の両面で高い評価を受ける。ドラマーのトマ・フジワラは日仏ハーフでボストン生まれ。10歳で巨匠アラン・ドーソンに師事し、17歳でニューヨークへ進出。多彩なジャンルを横断する感性と卓越した構築力を持ち、NYタイムズ紙も「彼のドラムセットは一つの大きなキャンバスのようだ」と評している。

NAGOYA
12/12/2025 (fri)

Tokuzo
open 18:30 start 19:30
前売 ¥5,500 当日 ¥6,000

KOBE
12/16/2025 (tue)

100ban Hall
open 18:30 start 19:30
前売 ¥5,500 当日 ¥6,000

OKAYAMA
12/19/2025 (fri)

蔭涼寺
open 18:30 start 19:30
前売 ¥5,000 当日 ¥5,500

TOKYO
12/14/2025 (sun)

赤城神社
open 16:00 start 17:00
前売 ¥7,000 当日 ¥8,000

KOBE
12/17/2025 (wed)

100ban Hall
open 18:30 start 19:30
前売 ¥5,500 当日 ¥6,000

YAME
12/23/2025 (tue)

おりなす八女
open 18:30 start 19:30
前売 ¥5,000 当日 ¥5,500

